

# 2024 年度 「中国 大連通信」

2024 年 11 月 29 日

駐大連北九州市経済事務所

◆所長 瀧口 達弘 ◆副所長 松江 拓尚  
◆副所長 呂 俐 ◆職員 畢 偉宸  
松江 E-mail: [fusuo Zhang@kitakyusyu-dl.com](mailto:fusuo Zhang@kitakyusyu-dl.com)

## ～無人自動運転タクシー（深圳市）～

2024 年 1 月「中国 大連通信」にて、大連市の無人自動運転バスについての紹介を行いました。今回は、深圳市で走行する「無人自動運転タクシー」に乗車してきました。

今回は、中国のシリコンバレーやイノベーション先進都市とも言われる深圳市の概況と「無人自動運転タクシー」についての紹介を行います。

### ■深圳市の概況

|            | 深圳市                      | 大連市                    | 福岡県                     |
|------------|--------------------------|------------------------|-------------------------|
| 人口         | 1,779.01 万人              | 608.8 万人               | 510.1 万人                |
| 面積         | 1,997.47 km <sup>2</sup> | 12,574 km <sup>2</sup> | 4,987 km <sup>2</sup>   |
| 域内総生産(GDP) | 34,606.4 億元              | 8,752.9 億元             | 9,265.3 億元 <sup>1</sup> |
| 消費者物価指数    | 0.8%                     | 0.4%                   | 3.2% (北九州市)             |
| 年間平均気温     | 23.0 度                   | 10.5 度                 | 18.5 度                  |
| 年間降水量      | 1,901.3mm                | 719.1mm                | 1,686.9mm               |

出展「深圳市統計局発表資料」、「大連統計局発表資料」、「福岡県HP」、「気象庁HP」を基に作成

深圳市は、中国南部の広東省に属し、香港の北に位置します。1970 年代までは人口約 3 万人の地方の小さな漁村に過ぎませんでしたが、1980 年に中国初の経済特区に指定されて以降、製造業を中心に目覚ましい発展を遂げ、現在では人口 1,779 万人を抱え、域内 GDP は上海市、北京市に次ぐ全国第 3 位の規模を有する中国屈指の都市になるまで発展を遂げました。

近年ではハイテク技術産業を中心に力を注いでおり、HUAWEI・テンセント・DJI・BYD<sup>2</sup>などの名だたる大企業が本社を構え、中国のシリコンバレーやイノベーション先進都市とも言われています。

<sup>1</sup> 1 元 21 円で計算

<sup>2</sup> HUAWEI：通信機器大手、テンセント：中国版ライン「WeChat」を手掛けるインターネットサービス企業、DJI：ドローンの世界シェア 70%超、BYD：EV 販売台数世界一



※Google map より



※深圳市の高層ビル群

### ■深圳市の無人自動運転タクシー

中国での無人自動運転タクシーは、自動運転レベル 4 に該当し、北京市や上海市、武漢市など複数都市展開されており、深圳市では計 5 社の無人タクシーが実際に街中を走行しています。

我々が乗車したのは、2016 年設立の中国のスタートアップ企業「小马智行<sup>3)</sup>」の無人タクシーで、トヨタ自動車は 2020 年に 4 億ドル (約 608 億円) 出資したことで知られています。車両もトヨタ社のレクサス RX をベースにしたものを使用しており、8:30~22:30 の間、深圳市南山区と宝山区の一部を走行しています。現在はテスト走行中ということもあり運賃は無料で、専用のアプリで配車する流れになっています。



※今回の走行ルート



※乗車した無人タクシー

<sup>3)</sup> 2024 年 11 月 27 日には、米国ナスダック市場に上場

## ■乗車してみた

今回乗車したのは深圳市南山区内の 6.3 km の区間で、無人タクシーの走行可能エリア内であれば自由に目的地を設定できます。乗車後シートベルトを着用しないと発車できないようになっていることや、周囲の車両などを搭載カメラで認知し車内のモニターに適宜反映されることは、大連市の自動運転バスと同じでしたが、それ以外の面ではこちらの無人タクシーの方が進んでいる印象を受けました。



※運転中(左折時)の車内の様子



※周囲の車両や歩行者が車内のモニターに反映

最も違いを感じたのは、①走行ルートと②走行速度です。大連市の自動運転バスは、一般車両が往来する公道を走行してはいましたが、交通量が比較的少なく、右左折や車線変更があまり必要ないルートを設定している印象でした。一方で今回乗車した無人タクシーでは、都会の中心部で交通量が多いルートを走行し、右左折や車線変更を何度も行っていました。

速度に関しても、大連市の自動運転バスは時速 30 km で走行し、他の一般車両とは明らかに速度差がありました。無人タクシーは最大時速 60 km で走行。また、そのスピードで走行しているながら、障害物を検知し車線変更する際や右左折する際も非常に滑らかであり、走行中に危険性を感じることもありませんでした。

## ■結びに

深圳市では、無人タクシー以外にもドローン配送が行なわれていたり、日本でも見ることができない最新技術が詰まっている都市です。

中国では、2024年11月30日から30日以下の滞在に関してはビザが免除になり、訪問のハードルが下がりました。中国へは福岡空港から大連をはじめ、複数都市にアクセスが可能です。この機会に是非中国に足を運んで、中国の巨大なマーケットや最新技術などを肌で感じてみて下さい。マスメディアの報道を通じて見る中国とは、違った一面を見ることができると思います。

中国ビジネスに少しでも関心があれば、当事務所が全力でお手伝いさせていただきますので、是非お声がけ下さい。